

自己評価がⅡからⅢになった項目

大項目	中期計画	平成18年度計画	平成18年度評価の判断理由（計画の進捗状況等）	自己評価
Ⅱ	(158)一層の教員の流動性を向上させ教育研究の活性化を図るため、講師以上の職階についても、各学部・研究科等の教育研究の特性に配慮しつつ、任期制の導入を検討し、成案が得られたものから順次実施する。	講師以上の職階への任期制導入に向けて、他大学の情報収集、分析を行うなど検討を進める。	年度計画を順調に実施している。 他大学の情報を収集して検討した結果、平成19年度中に講師以上の職階への任期制を一部導入することとした。	Ⅲ
Ⅲ	(170)授業料等学生納付金については、公立大学の役割や適正な受益者負担などの観点から、適宜見直しを行う。その際、学部・研究科ごとの適正な料金設定についても検討を進める。	他大学の動向を注視しながら、引き続き適正な学生納付金の設定について検討を進める。	年度計画を順調に実施している。 国公立大学の授業料設定の動向を注視しながら、全ての国立大学法人の収入に占める学生納付金の比率、学生一人当たりの教員人件費・職員人件費等について調査し、適切な学生納付金について検討した結果、平成19年度の学生納付金については、改訂の必然性はないものと判断とした。	Ⅲ